

# ワード/エクセルでイラストを作る

ワードの描画ツールでぶどうのイラストを描きましょう。

エクセルで大作を描く神技がテレビでも度々紹介されますが、ワードではA4など用紙の大きさを越えて描くことはできないためエクセルを使っているだけで基本的には今日勉強することの延長上にあります。3Dなど性能的にはワードの方が勝っています。

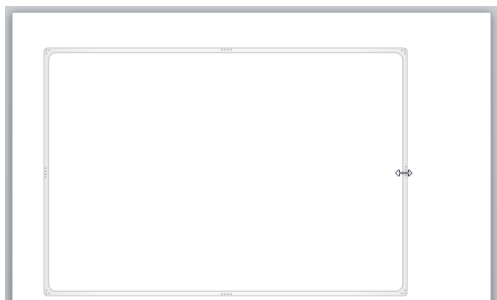
今日の勉強も細かな作業が続きますが、同じことの繰り返しですので、根気強く完成させましょう。

エクセルで描いた絵→



## 1. ブドウの房を描く

- ① 挿入→図形→新しい描画キャンバス(N) をクリック。表れたキャンバス(絵を描く場所)をなるべく大きなサイズにする(左右/上下のマークをドラッグして用紙いっぱい)。



### ※描画キャンバス

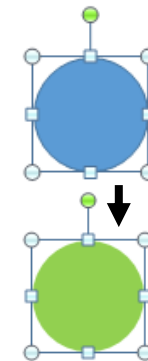
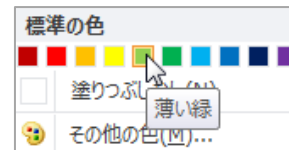
キャンバス上に描いた複数の図形は「選択ツール」でまとめて選択することができます。

グループ化するような複雑な図形はキャンバス上に描いた方が編集が楽です。

- ② 描画→円/楕円をクリックします。

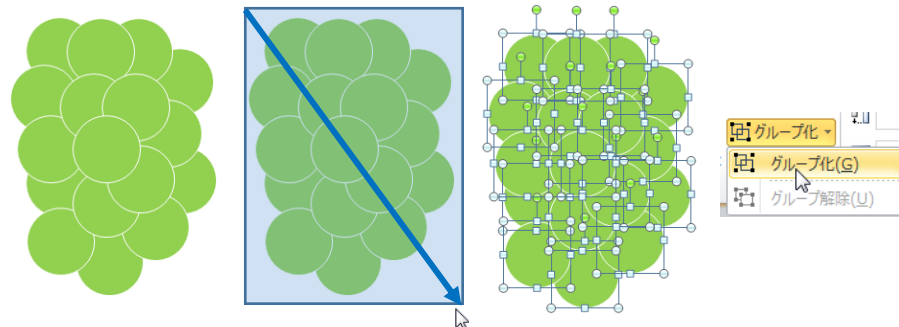
shift を押しながらマウスを右斜め下にドラッグして円を描きます(円になります)。

- 円を選択してから 描画ツール→図形の枠線→白、図形の塗りつぶし→うすい緑・・・を選びます。



- ③ この薄い緑色のぶどうの粒をコピーして、他の場所にぶどうの房状に貼付ける。

書式→オブジェクトの選択と表示 をクリックし、ブドウの房全体を選択する。続いて書式→グループ化 で房全体をひとつの図形とみなすようにする。

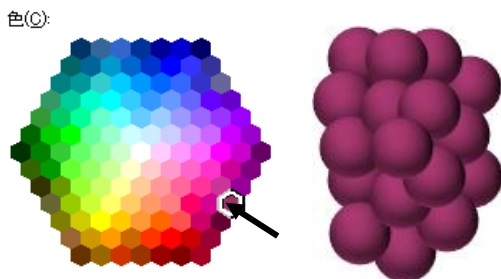


このグループ化した状態で、書式→図の枠線→線なし にする。

房をA4に横に4個並べられるくらい縮小する(隅をshift を押したままドラッグする)。更に 書式→図形の効果→面取り→3D 効果 で面取りの幅、高さ共に15pt とする。

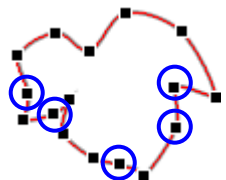


- ④ 出来上がった緑色のぶどうの房をコピー/ペーストする。出来た 2 個目のブドウを選択してから、書式→塗りつぶし→その他の色→右図の紫を選択。

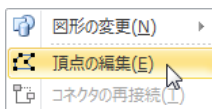


## 2. ブドウの葉を描く

- ① 曲線ツール  $\wedge$  で葉の形をトレースします。曲線ツールで通過ポイントを次々にクリックしてゆくとそのポイントどうしを滑らかな曲線でつないでくれます。ctrl を押しながら次のポイントをクリック(○)すると折線をつないでくれます。



後でポイントの場所を修正したい時は書式から頂点の編集をクリックすると上の図のようにポイントに



■マークが付きますので、そこをドラッグします。ドラッグ時カクカク動くことがありますが Alt キーを押しながらドラッグすると滑らかに動きます。

- ② 葉に色づけします。濃淡2種類作っておきます。書式→図形の効果→面取り→ソフトラウンド。図形の効果→面取り→3D オプション→質感→つや消し。



## 3. ブドウのツルを描く

曲線  $\wedge$  でツルを描きます。全ての枝をグループ化し、書式→図形の効果→面取り→角度で立体感を出す。



4. ツルの上にブドウの房や葉を散りばめて行きます。各部品を配置するとき大きさを少し変えろとか、回転ハンドルで向きを変えろとか、書式→回転で左右反転させろとかで変化を与えろと良いでしょう。

